

教育目標:つよい子・考える子・助け合う子

杉並区立大宮小学校

創立145周年



大宮 豊

HP URL: <http://www.suginami-school.ed.jp/oomiyashou/>

題字「大宮豊」(おおみやこう)勝 海舟

教育の当事者として

副校長 矢藤 健男

校庭のいちょうの木も色づき、日光を浴びて光り輝いているように見えます。12月を迎え、3日には学校公開があります。6月の公開以来、久しぶりに授業を見ていただけます。お子様の成長した姿を是非ご覧ください。

さて、先月の土曜授業日に「杉並教育ビジョン2022」意見交換会を開きました。「杉並教育ビジョン2022」では「私たちが大切にしたい教育」として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げています。この日は6年生全員と学校運営協議会委員や教育委員会の職員の方が体育館に集まり「みんなの幸せを創るには」をテーマにしてグループごとに意見を交換しました。

まず初めに「自分にとっての幸せとは何か。」考えました。「好きなことをする。」と話す児童が多くいました。学校運営協議会委員や教育委員会の職員の方も入り、意見を言ったり話し合いを進めたりしていただきました。次第に話し合いがスムーズに進むようになっていきました。

次に「みんなの幸せって何だろう。」と考えました。話し合った内容は全体で共有しました。「みんなで笑うこと」「みんなでいっしょに過ごすこと」「運動会や学芸会が成功してみんなで力を発揮できたこと」など今までのよい思い出をもとに話す児童がたくさんいました。

最後に「みんなの幸せを創るために自分にできることは何だろう。」と考えました。「まず自分が幸せになる。」「相手の意見を尊重する。」「友達や家族といっしょに過ごす。」「戦争をなくす。」など、自分・学校・家族・世界まで幅広い考えをもった子供たちの意見にとっても感心しました。友達の意見を聞くことで自分の考えの幅がさらに広がっていくと感じました。参加していた学校運営協議会委員や教育委員会職員からは「思っていたより大人」「何を言っても受け入れられる雰囲気がある。」「子供たちから学ぶことが多かった。」とのお褒めの言葉をいただきました。

「杉並教育ビジョン2022」では「1人ひとりが教育の当事者として心がける視点」として「子どもの思いを尊重する」「ちがいを受け入れる」「対話を大切にする」「学びの成果を贈り合う」「社会を創る当事者として考える」を掲げています。今回の意見交換会では児童1人ひとりの思いが尊重され、相手の意見を受け入れ、グループで対話をして、グループごとの学びを贈り合いました。そして、まさに1人ひとりの児童が当事者として「しあわせを創ること」について考えていました。この子供たちがこれからも「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を実現していくことを実感しました。子どもも大人もすべての人が教育の当事者です。私たち教員も子どもたちに負けてはいられません。保護者や地域の皆様と共にこれからも杉並の教育を推進していきます。

また、杉並区教育委員会が実施しているアンケート「教育調査」をMicrosoft Formsを利用したWeb回答方式で実施します。質問項目は中面に掲載しています。近日中に回答フォームのURLをメールにて配信いたします。この調査の結果は学校だよりでお知らせいたします。皆様のご協力をお願いいたします。

生活

友達を大切にして、お互いの良いところを伝え合おう

保健

姿勢をよくしよう

給食

感謝して食べよう